

# 令和4年度認定

# 小諸ふるさと遺産

後世に守り伝えたい

## ●小諸ふるさと遺産とは…

小諸市の地域で大事に守り伝えられてきたもの、地域のシンボルなど、その歴史的・文化的価値に関わらず、後世に残していきたいものを「小諸ふるさと遺産」として、小諸市教育委員会が認定するのが、「小諸ふるさと遺産制度」です。

## ●これまでの取り組み

この制度は平成30年度にスタート。初年度には30件、令和元年度には31件、令和2年度には41件認定されています。また、認定証（プレート）の贈呈、冊子『小諸ふるさと遺産集』の刊行、小諸ふるさと遺産・文化財の保存・継承、活用を考えるシンポジウムの開催等を行ってきました。

## ●令和4年度の取り組み

7月12日の小諸ふるさと遺産選定委員会、8月3日定例教育委員会を経て、新たに3件が認定されましたのでご紹介します。合計認定数は、105件となりました。

ふるさと遺産の詳細は市HPにて



ふるさと遺産の詳細位置はこちら



ほんじんおもや 本陣主屋 (大手区)

本陣主屋は、北国街道小諸宿を通った参勤交代の大名などが休泊した建物で、市町にある国指定重要文化財「旧小諸本陣（問屋場）」と一体をなす建物です。

明治に入り、佐久市鳴瀬の桃源院に買い取られ本堂や庫裏として使われていましたが、平成7年(1995)、小諸市に寄贈され、旧地にほど近い大手門公園内に移築されました。

## 『小諸ふるさと遺産集』を配布しています！

小諸市教育委員会では、平成30年度～令和2年度までに認定となった小諸ふるさと遺産を一冊にまとめ、刊行しました。建造物、自然環境、民芸品、特産物、伝承、郷土料理、伝統行事など、多種多様な地域のお宝が掲載されています。市役所2階教育委員会窓口で、**無料**、で配布中です。市内各地に残る遺産の数々を、ぜひご覧ください。

※在庫がなくなり次第、配布終了。お一人様一冊。

文化財・生涯学習課



こもろほんじょうき 小諸繁昌記

『小諸繁昌記』は永井活版石版所の永井與三郎が明治38年(1905)に編集発行した本です。

小諸町の繁昌の全貌を、政治、経済、社会、文化などの全分野から限なく多彩に誌した貴重な資料です。(後に『復刻小諸繁昌記』も出版されています。)



## 小諸を舞台にした 小山田いくの作品

小山田いくは、小諸出身の漫画家です。その作品のいくつかには、小諸市内各所の風景が情緒豊かに描かれています。

代表作『すくらっぷ・ブック』は、出身校である芦原中学校をモデルにした「芦ノ原中学校」の生徒たちの学生生活を描いたもので、読者が小諸を訪れる、いわゆる「聖地巡礼」の先駆けとなりました。©小山田いく / 大洋図書

